

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 9 日

| | | | | | | | | |
|---|--|--|------------|---|----------------|-----------------|---|---------|
| 事業名称 | | 介護予防ケアマネジメント事業費（特別会計）[介護予防・日常生活支援総合事業] | | | | | | |
| 予算科目 | 款 4 | 地域支援事業費 | 項 1 | 介護予防・生活支援サービス事業費 | 目 2 | 介護予防ケアマネジメント事業費 | 事業番号 | ① |
| 事業の種別 | <input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり) | | | | | | | |
| 担当部署・課長名 | 高齢介護 | | 課 | 地域包括ケア推進 | 係 | 課長名 | 伊野宮 崇 | |
| この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。 | | | | | 施策番号 | 2 - 2 | | |
| 【施策名】 高齢者福祉の推進 | | | | | 総合計画書 (ページ) | 51 | | |
| 1 この仕事の目的 | ① 誰(何)を対象にしていますか。 介護保険法に規定する被保険者の内、要支援者及び事業対象者 | | | ① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 介護予防・日常生活支援総合事業に係る介護予防・生活支援サービスの利用者数 (年度当初時点) | | | | |
| | ② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 状態を維持する。もしくは可能な限り要介護状態となることを防ぐ。 | | | ② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 介護予防・日常生活支援総合事業に係る介護予防・生活支援サービスの利用者数 (年度末時点) | | | | |
| | ③ そのために何をしましたか。 適切なケアマネジメントの実施 | | | ③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 介護予防ケアマネジメントの実施件数 | | | | |
| 2 指標の推移 | | | 単位 | 過去2年間の実績 | | 当該年度 | 成果目標 | |
| | | | | 平成30年度実績 | 平成31年度実績 | 令和2年度実績 | 令和3年度目標 | 令和4年度目標 |
| | 対象指標 | ①の数値 | 人 | 724 | 736 | 695 | | |
| | 成果指標 | ②の数値 | 人 | 729 | 757 | 802 | | |
| | 目 標 | ②の目標値 | 人 | 711 | 729 | 757 | 802 | 802 |
| 目標値設定の考え方 状態の維持を目標としているため、前年度と同値を目標値とする。 | | | | | | | | |
| | 活動指標 | ③の数値 | 件 | 4,445 | 4,544 | 4,379 | | |
| 3 経費 | 事業費(実績) | | 円 | 18,258,364 | 18,745,945 | 18,073,462 | ※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。) | |
| | 財源 | 一般財源 | 円 | 2,311,440 | 2,449,696 | 2,461,665 | | |
| | | 特定財源(国・都・他) | 円 | 15,946,924 | 16,296,249 | 15,611,797 | | |
| | | (うち受益者負担) | 円 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 人件費(目安) | 所要人数(再任用以外) | 人 | 0.1 | 0.1 | 0.1 | | |
| | | 所要人数(再任用) | 人 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | | |
| | | 職員人件費(再任用以外) | 円 | 824,400 | 831,000 | 838,000 | | |
| | 職員人件費(再任用) | 円 | 0 | 0 | 0 | | | |
| 事業費+人件費 | | 円 | 19,082,764 | 19,576,945 | 18,911,462 | | | |
| 4 環境変化等 | (1) 開始年度 | | 29 年度 | | | | | |
| | (2) 環境の変化 ・平成29年4月1日より事業開始。 ・平成29年度は移行期間であり、平成30年度から全ての要支援1及び2の方が総合事業に移行したことから、平成29年度と比較してケアマネジメント実施件数が大幅に増加した。 ・毎年、介護予防ケアマネジメントの実施件数が増加している。 | | | | | | | |

| | | | | |
|----------|--|---|----------|-------------|
| 事業名称 | 介護予防ケアマネジメント事業費（特別会計）〔介護予防・日常生活支援総合事業〕 | | | |
| 担当部署・課長名 | 高齢介護 | 課 | 地域包括ケア推進 | 係 課長名 伊野宮 崇 |

| | | | | |
|-------------|--|---|--|--|
| 5 市民等の意見 | この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について | | | |
| | なし | | | |
| 6 市民協働 | (1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可） | | | |
| | <input type="checkbox"/> 取り組んだ <input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない | 取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ） | | |
| | (2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 | | | |
| 7 課題 | (1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記） 介護予防ケアマネジメントの実施件数の増加を踏まえた上で、第8期計画に反映させる。 | | | |
| | (2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。 実績を踏まえたうえで、第8期計画に反映させた。 | | | |
| | (3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） なし | | | |
| 8 | 施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 高齢者福祉の推進 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ） | | | |
| 9 今後の方向性 | (1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 ・類似サービスとの給付事業等の一本化 | | | |
| | (2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 ・類似サービスとの給付事業等の一本化する方法の検討 | | | |